
上映会開催のお願い

映画「オハイエ!」は、どなたでも上映会を開催することができます。

上映会は感動の共有の場に最適です。是非とも、あなたの手で、映画「オハイエ!」からあふれ出る本当の感動を広げてください。開催の方法、予算など、気軽にご相談ください。

上映会開催の方法

上映会の主催には様々な形があります。

知り合い、仲間たちと開催。

団体で開催。

上映実行委員会を作る方法もあります（別紙「上映実行委員会のおすすめ」参照）。

上映会にも色々な種類があります。

上映会だけの開催。

ミニ講演、ミニライブつきの上映会。

イベント内での上映会。

団体内での研修上映会など。

企画を立てます。

日時を検討。

予定（目標）の観客動員数に合わせての会場選び。

予算・スケジュールを立てます。

会場設備(プロジェクター・スクリーン・音響装置の有無の確認。会場にある場合でも、映画の効果を最大出すにはそれ相応の出力のあるプロジェクターが必要です。上映班でもある熊本映画センターと事前にご連絡・ご相談して下さい。)・映画料・映写技師料・宣伝費(チラシ、ポスター)・チケット制作費・会場使用料・その他諸経費

上映のご相談・お申し込み

映画「オハイエ!」上映のお申込・ご相談は・・・映画「オハイエ!」熊本上映を推める会
TEL096-381-1214（熊本映画センター内） 以後「上映事務局」

映画を多くの方に観ていただくために、宣伝・PRをします。

チケット・チラシ・ポスターの普及と配布など周知の宣伝活動。

上映実行委員会の場合は、範囲を拡げたフリーパブリシティを活用します。

（新聞、広報誌、会報、テレビ局などに上映会の案内、告知をしてもらいます）

上映会当日までの準備

会場での役割分担（受付・当日券販売・場内案内・主催者代表あいさつ・カゲアナなど）

当日の進行表作成と事前の打合せ（主催者・上映事務局・会館スタッフも）

物品販売・つり銭（必要な場合）

アンケート用紙の準備（必要な場合）

上映実行委員会の場合は、別紙「上映実行委員会のおすすめ」参照

事前に集約した観客予想を基に対策も要（上映事務局へも連絡・相談）

上映会当日

関係者・スタッフは、上映の90分前に集合

会場設営（受付・当日券販売・場内案内・販売物担当など）

上映班は、開場30分前までに映写・音響チェックを完了しますので、会場の借用の際は、機材設営・映写テストの時間も考慮して余裕もって手続きして下さい。

上映会が終わったら

チケットの回収

上映事務局へ連絡（FAXや報告書など文章化したものが正確に伝わります）

映画料等の精算

まとめの会など

有料上映会のチケット料金について

前売	一般	1000 円以上	高校生以下	500 円以上	全国基準価格
当日	一般	1200 円以上	高校生以下	700 円以上	全国基準価格

諸必要経費等の採算面からは、一般的な前売料金は一般 1200 円・高校生以下 800 円が妥当です。料金設定の際は、事前に上映事務局にご相談の上で決定して下さい。

上記の料金は上映会単独のみの全国共通のチケット料金です。上映事務局企画のミニ講演・ミニライブつきの上映会の場合は料金体系が別ですので、上映事務局にご相談下さい。

予算立て方

映画「オハイエ!」の映画料

会場の規模、観客数、主催内容、無料・有料、学校上映など条件によって変わります。できるだけ多くの皆様に主催していただけるよう、小規模の上映会などの企画も、上映事務局にお気軽にご相談ください。赤字が出ないように上映会主催者に合う提案をします。

上映機材

業務用プロジェクター・音響機材・映写技師は、上映事務局の方で主催者とともに会場設備確認後に必要に応じて手配します。

料金は、会場設備など使用機材などで異なります（映写機材持込の場合 50,000 円～、映画料とは別料金。映画メディア及び映写機等のみのレンタルは、原則的には実施しておりません。遠隔地の場合は、別途、交通費が必要な場合があります。）

チラシ・ポスター

チラシ	1 枚	6 円
チケット	1 枚	4 円
ポスター	1 枚	100 円
上映会日時等の印刷費		実費

「オハイエくまもと とっておきの音楽祭」支援金

熊本県での上映会開催の際には、県内で開催される“とっておきの音楽祭”支援を目的とした取組みとして、上映会の益金の中から「支援金」の予算化など呼びかけ、賛同する上映会から支援金を「音楽祭実行委員会」に寄付します。

バリアフリー上映

日本語字幕について

映画「オハイエ!」は、耳の不自由な方にもご覧いただけように、全編日本語字幕付きとなっております。

音声ガイドについて

目の不自由な方のための音声ガイドシステムも用意しております。

ただし、音声ガイドシステムの機器の台数には限りがありますので、使用する場合は事前にご相談ください。料金が別に必要となります。

ミニ講演・ミニライブ上映会、団体鑑賞・福祉イベント上映会のおすすめ

映画オハイエ!では、上映会単独のほかにも、様々な企画をすることができます。

浅野史郎氏ミニ講演

前宮城県知事で慶応大学教授である浅野史郎氏は、この映画のエグゼクティブプロデューサーであり、映画オハイエ!全国上映を推める会会長でもあります。福祉のプロでもある浅野氏のユーモアを交えたミニ講演は好評を得ています。（現在、浅野氏が病氣療養中のため休止中）

映画出演者などによるミニライブ

映画の中には、数多くの障害のあるミュージシャンが出演しています。映画で感動したあと、そのミュージシャンの生のステージはさらにその感動を増します。これまでも荒川知子とファミリーアンサンブル、笙 YUU など、多くの上映会でミニライブが行われています。

あんべ光俊ミニライブ

この映画の音楽を担当しているシンガーソングライターの、あんべ光俊氏のミニライブも好評です。岩手県 8ヶ所での上映会では、地域の障害のある方たちも出演し、テーマソング「オハイエ」の会場での大合唱は、とっておきの音楽祭のフィナーレの興奮と感動を体感しているようです。

* ミニ講演、ミニライブは、30分～40分となります。

* 上記の企画の場合は、交通費と出演料について、ご相談ください。

教育・学校関係の方々へ

とっておきの音楽祭の合言葉は、「みんなちがって みんないい」。

この映画のテーマのひとつでもあります。人を思いやる気持ち、人がそれぞれ違うことを認め合う心、今、現代が抱える荒涼とした心の問題に対して、この映画はその答えを示しています。

これまでも全国各地の養護学校、中学校、高校、大学で上映されています。

「みんなちがって みんないい」の意味を考えるきっかけになる学校上映をお勧めします。

「学校団体鑑賞」上映については、上映事務局までご相談・お問い合わせ下さい。

福祉関係の団体・行政の方へ

映画オハイエ!は、これまで各地の福祉関係の団体・行政による上映会も主催されてきました。例えば大規模なものでは、「第1回いたばし社会福祉大会」では板橋区と板橋区社会福祉協議会に主催していただきました。そのほか宮城県、岩手県、宮崎県、熊本県、福岡県などの福祉団体が主催した上映会も行われています。ドキュメンタリーというと、なにか小難しい感じがしますが、この映画は楽しんでいるうちにそれが感動となり、いつしか「心のバリアフリー」を考えるきっかけになっています。また、「この映画で障害のある方たちへの見方、考え方が変わった」という多くのアンケートも寄せられています。

上映会単独、上映会とミニライブやミニ講演など、福祉にまつわるイベント・大会・セミナーなどに最適な映画だと思しますので、上映事務局までご相談、お問い合わせください。

上映実行委員会のおすすめ

映画「オハイエ!」熊本上映を推める会では、上映実行委員会主催での自主上映もサポートしています。

まずは1人から2人・・・20人の仲間づくり

最初は2,3人でも徐々に仲間を見つけ、何回か相談会をします。
20人以上の参加をめでに「実行委員会」を結成します。

最初の相談会から上映を推める会と念入りな打合せを！

作品・日程・会場などの決定後の連絡は、ご希望に沿えない場合がありますのでご注意ください。

実行委員会は、各実行委員ひとりひとりの意見が反映される運営に

それぞれの役割・事務局・予算・目標・会場・上映日時など参加者全員で決めます。

本上映会を成功させるための試写会開催

上映会を成功させるカギは、「映画の特性」を最大限に生かすことです。
そのために実行委員会で招待者をリストアップし、招待者にチケットを預かっていただき
後日売れた分を精算してもらうことが大事です。
試写会は、本上映会前の3～4週間前がベスト。

実行委員会は、本上映会まで8週間の取組み期間が理想

大量の宣伝物より人から人へのネットワークのひろがりを経費を最小限に抑える秘訣です。

実行委員会の中では、各実行委員間の交流の場も取り入れながら

各実行委員の経験や実践などを交流しながら、進行状況を全員で確認しあいます。
また、テーマを決めて講師や関連作品など活用した学習交流の場づくりを取り入れていくのもひとつです。